

令和8年 向日市 「はたちの集い」

20歳を迎えた皆さまの新たな門出をお祝いするため、1月12日(祝)に「はたちの集い」を開催しました。

今年は平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方が対象で、会場の永守重信市民会館には438人が来場されました。

問 生涯学習課 ☎ 874-2987

運営を手伝っていただいた皆さんに
今のお気持ちを伺いました



20歳を迎えた皆さんへ

輝かしい2026年の新春を迎え、晴れやかに20歳の節目を迎えた皆さんに心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は「大阪・関西万博」が開催され、世界各国の歴史や文化、産業、最新技術などに触ることができ、未来を身近に感じるとともに驚きと感動に満ちた一年となりました。20歳を迎えた皆さんも、夢の実現に向けた意欲と希望を持ち、自分らしさを大切に、力強い一步を踏み出してほしいと思います。

一方で、これから的人生においては、時には失敗して悩むことがあるかもしれません。私もこれまでの人生で多くの失敗を経験し、挫けそうになったことや、今でも後悔していることが少なからずあります。しかし、人は何度もやり直すことができますし、やがてチャンスは巡ってきます。つらいときに上を向くことは苦しいですが、下を向いていては雨のあとのきれいな虹に気づくことができませんので、そのチャンスを見逃さないように、ぜひ上を向いて歩んでほしいと思います。

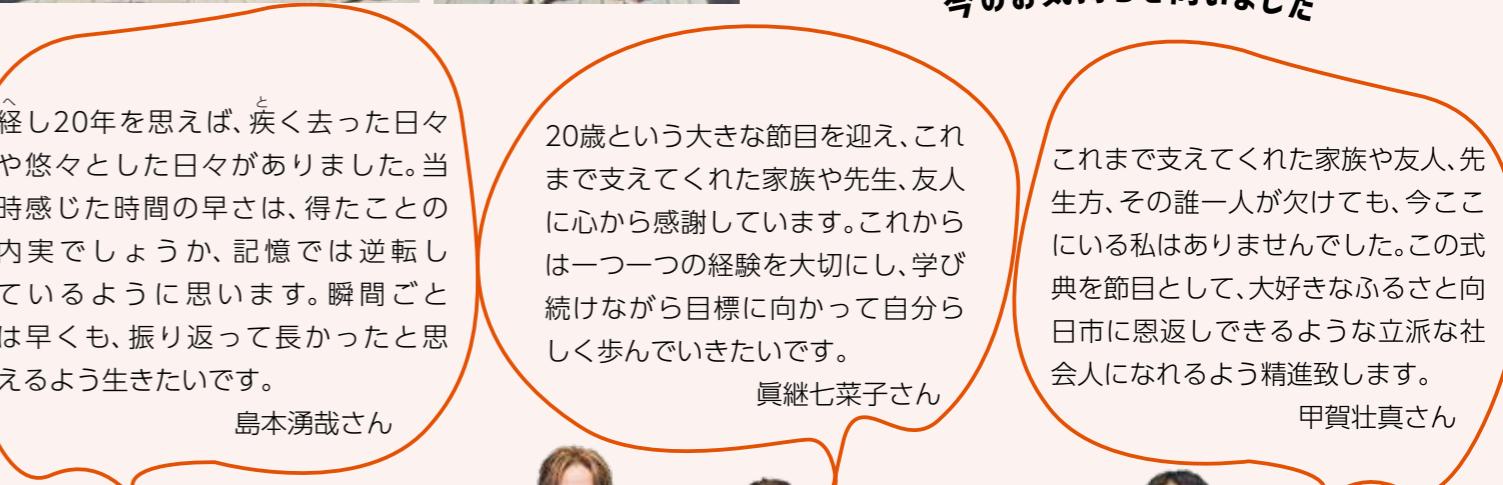
そして、失敗しても立ち上がりようと頑張っている人には、どうか温かい手を差し伸べてください。

向日市は、本年、開業150周年を迎える京都府内最古の鉄道駅であるJR向日町駅の橋上化や東口開設、アリーナの整備などにより、大きく変化しようとっています。私たちは一生懸命努力し、皆さんに「ふるさと向日市」を引き継いでいきますが、未来を担う皆さまの力で、今後の向日市をさらに素晴らしいまちにしていただければ幸いです。

皆さまの未来を信じ、大きな期待を込めて私のお祝いの言葉いたします。

向日市長

安田 守



経し20年を思えば、疾く去った日々や悠々とした日々がありました。当時感じた時間の早さは、得たことの内実でしょうか、記憶では逆転しているように思います。瞬間ごとに早くも、振り返って長かったと思えるよう生きたいです。

島本湧哉さん

20歳という大きな節目を迎え、これまで支えてくれた家族や先生、友人に心から感謝しています。これからは一つ一つの経験を大切にし、学び続けながら目標に向かって自分らしく歩んでいきたいです。

真継七菜子さん

これまで支えてくれた家族や友人、先生方、その誰一人が欠けても、今ここにいる私はありませんでした。この式典を節目として、大好きなふるさと向日市に恩返しできるような立派な社会人になれるよう精進致します。

甲賀壮真さん



振り返れば、何度も迷い、立ち止まった日々がありました。それでも今日ここに立てているのは、変わらず支え、見守り続けてくださった皆様がいたからです。言葉では伝えきれない感謝を胸に刻み、人とのつながりを大切にしながら、誰かの力になれる存在として、この先の人生を歩んでいきます。

林晃輝さん

20年間育ったまち向日市で成人を迎えることができ嬉しく思います。家族や地域の皆様には小さな頃からお世話になっています。これからも大学での勉強を活かし、皆様のお役に立てるような社会人を目指して頑張ります。

草木陽菜さん